外　来

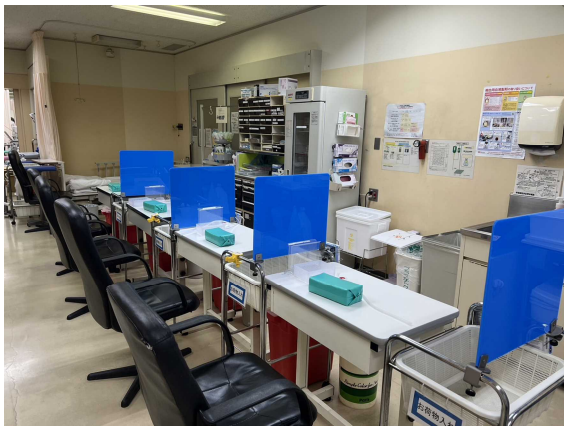
＜外来看護職員数＞
外来看護師：75 名
　救急認定看護師 1 名
　化学療法認定看護師 1 名
　透析看護認定看護師　1 名
看護補助者：9 名

部署目標

急性期病院として地域のニーズに応え、医療介護福祉の連携を推進していきます。

部署紹介

　外来は 39 診療科（各種の専門外来も含む）と、救急外来、中央処置室、化学療法、内視鏡、透析室、血管造影室、放射線治療等に分かれて診療を行っています。
　地域の基幹病院として、二次救急医療、地域医療支援や専門的ながん医療の提供やがん相談支援を行っています。24 時間体制の救急患者の対応と緊急の内視鏡検査・治療、透析、心臓カテーテル治療などを行っています。
　また外来では、患者の在宅療養支援を充実するために病棟と外来の連携、他職種や院外との連携を図りながら必要な支援を展開してまいります。



　看護外来は、ストーマ外来、排尿ケア失禁外来、慢性創傷・フットケアスキンケア外来、リンパ浮腫外来、がん看護外来、呼吸ケア外来、腹膜透析外来、腎代替療法選択外来があり、専門的知識や技術を持った看護師が、医師と協力して患者さんの在宅療養が継続できるよう、支援を行っています。

内視鏡室

部署紹介

上部内視鏡、下部内視鏡、気管支内視鏡の検査及び治療を行っています。

予定の内視鏡検査・治療だけでなく、緊急内視鏡件数も多く、平日の夜間および土・日・祝日の昼夜を問わずスタッフが待機し、迅速に対応しております。地域の方々の二次検診の受け入れも含め、超高齢化社会のこの地域では年々対象者が高齢の方も増えています。

令和５年度は上部内視鏡 5319 件（胃癌手術 113 件、胆道ステント 340 件）、下部内視鏡 3345 件（大腸癌手術 144 件、大腸ステント 33 件）、気管支内視鏡 287 件の検査・治療を実施しました。平成 29 年度に開始した気管支喘息発作の改善を目的とした気管支サーモプラスティも行っています。

内視鏡室配属スタッフは現在９名。治療時は、この他に外来スタッフが加わり、対応しています。

私たち内視鏡室スタッフは、より専門性の高い検査や治療を地域の方々に提供できるよう、最先端の内視鏡治療への理解を深め、患者さんが安全・安心に検査を受けられるよう日々努力しております。

透析室

＜人工透析装置＞
22台
＜体制＞
午前・午後（２部体制）
＜職員数＞
看　護　師　　７名
透析看護認定看護師　１名
臨床工学技士　　１名

部署目標

親切、丁寧に、安全安心な透析を提供し、
より良い透析生活が送れるようにサポートいたします

部署紹介

当院透析室は地域の基幹病院としての役割を担い、透析導入・腹膜透析をはじめ、24時間の緊急透析対応、急性血液浄化療法を行っています。また、腎代替療法選択外来を開設し、患者さん個々のライフスタイルに合わせた治療方法を選択できるように援助しています。

シャントトラブルに対して血栓除去術や血管拡張術を行っております。当院患者さんのみならず、県南部の透析施設の患者さんを紹介していただき、脱血不良・静脈圧不良・穿刺困難などのシャントトラブルにも対応させていただくよう令和６年度よりシャント外来を開始しました。

透析患者さんの生活の質の維持を目的とし医師を中心としたチームで足の観察・ケアを行っております。足病変の早期発見・早期治療を目指して合併症の予防に努めています。

血液透析療法は１回３～５時間と長時間のため、私たちは患者さんが安全・安心な治療を受けられるように環境を整え、透析導入時から安定期までの看護を行っています。また、多職種と連携し質の高い医療・看護を提供できるように努めて参ります。